

めぐる季節の 校庭に

めぐる季節の校庭に
忘れ残りの風が吹き、

面影消えた教室に
佇む春も あります

三月は別れと出逢いの季節だ。
その中で自分を静かにふり返り
見つける機会にすることだ。

その心により出直し、は切り直してできる
チャンスが生まれる。
自分よりセットで来るチャンスなのだ。

それまでのためな自分、弱き自分と訣別する
のだ。

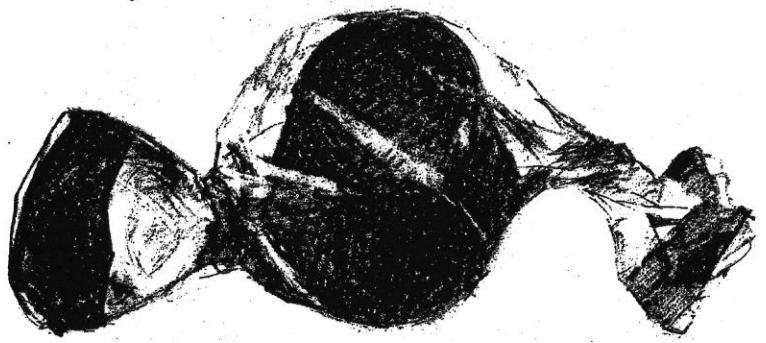
どうせ僕なんか何をやってもだめなんだ……と
あきらめている人、なげやりになえている人はいなか。

どんなに失敗しても、うまくいなくても
人には平等に再出発で来るチャンスが与えられている。

それが別れと出逢いの中にはあるのだ。

あきらめるな。
一人一人の新しい春に向かって自分よりセットするのだ。

(はたするまで最終ゴール)



弄直を疑問符
志野 弘

小島は目をかけてみた
小島は不思議そうに
首をかしげた

わがままいから
わがままいから
素直にかしげた
あれは自然なひねり
くらいかな
美しき疑問符のかたち

福三子
校長室
だより
ほたる草

平成二十八年三月十八日(金)

NO.93